

# 水道事業の業務状況（令和 7 年 9 月 30 日）

## 1 水道事業の概況

加須市の水道事業は、平成 23 年の 1 市 3 町の合併に伴い、平成 25 年度に新たな加須市水道事業として創設認可を受け、平成 25 年度及び平成 26 年度の料金一元化に伴う激変緩和措置を経て、平成 27 年度からは全市域での統一料金の適用による事業運営を行っています。

水道事業を取り巻く経営環境は、人口減少に伴う給水人口の減少に加え、環境に配慮した節水意識の高揚、節水機器の普及により、料金収入が減少傾向にあります。

浄水場や管路の老朽化が進んでいるとともに、耐震性が低い石綿セメント管の更新が遅れており、県内で最も多く残っているため、早急に更新することが必要です。

また、浄水場から送り出す水量に対して、料金収入となる水量の割合を示す有収率は、令和 6 年度は 85.53%（前年度比△0.10 ポイント）と、前年度値及び埼玉県平均を下回っているため、管路の老朽化が進み漏水が多い状況です。このため、施設の稼働が更に収益につながるよう、漏水調査や老朽管の更新などを進めており、特に、石綿セメント管については、令和 7 年度は第 2 次加須市水道ビジョンの目標値である毎年 2.5 キロメートルの計画の倍の約 5 キロメートルの解消を進めており、今後も早期解消に向けて加速してまいります。

今後は、令和 6 年度に策定した「水道施設統廃合計画」や、令和 7 年度に策定予定の「水道管路更新計画」、令和 8 年度に策定予定の「水道アセットマネジメント計画」などの各種計画に基づき、長期的な視点に立った浄水場の計画的な統廃合や施設更新の実施、及び老朽管及び基幹管路の更新・耐震化などにより水道を安定的に供給するとともに、効率的な事業運営や施設の維持・更新に必要な財源（料金収入など）の確保による経営基盤の強化を推進し、第 2 次加須市水道ビジョン（計画期間：令和 5 年度から令和 14 年度まで）に掲げる基本理念である「将来にわたり安全な加須の水の安定供給」の実現に努めます。

### (1) 営業状況

令和 7 年度 9 月末現在の水道料金収入の元となる給水量（使用水量）は、年間予定 12,919 千 m<sup>3</sup> に対し、6,543 千 m<sup>3</sup>（50.64%）を執行し、これによる収入額は、年間予定 2,341,393 千円に対し、1,167,733 千円（49.87%）となっております。

## (2)建設改良費

令和7年度に予定している設備投資に関する主な事業は、下記のとおりです。

事業名	事業費 (千円)	事業概要
「水道管路更新計画」 策定業務	16,566	老朽化が進行している管路を計画的に更新するため、「水道管路更新計画」を策定する。
石綿セメント管更新	383,357	石綿セメント管の更新（耐震化）工事
水圧不足対策	240,700	水圧不足解消のための配管布設工事
有収率向上対策	20,350	漏水多発地区における漏水調査委託
浄水場統廃合更新整備	512,708	大利根第2,3浄水場監視制御設備等工事など
浄水場設備改修	155,870	騎西浄水場管理棟防水工事、 加須10号井改修工事など

## 2 令和7年度の経理概況（令和7年9月末現在）

収入	予算現額(千円)	予算執行累計額(千円)	執行率(%)
収益的収入	2,766,205	1,297,868	46.92
資本的収入	799,071	0	0.00

支出	予算現額(千円)	予算執行累計額(千円)	執行率(%)
収益的支出	2,682,233	976,717	36.41
資本的支出	2,094,725	1,290,178	61.59